

木簡研究 第4号

1982年11月刊 頒価 3500円

卷頭言 一木簡保存法の思い出一

坪井清足

1981年出土の木簡

1977年以前出土の木簡(4)

呪符木簡の系譜

木簡と上代文学 一水産物付札をめぐって一

「漆紙文書」出土概要

和田 萃
小谷 博泰
佐藤宗諱

木簡研究 第5号

1983年11月刊 頒価 3500円

卷頭言 一木簡史の研究について一

関 晃

1982年出土の木簡

1977年以前出土の木簡(5)

字訓史資料としての平城宮木簡

一古事記の用字法との比較を方法として一

平城宮出土の衛士関係木簡について

木簡とコンピュータ

書評『草戸千軒一木簡1-』

小林芳明
小鬼頭清琢
田中琢真
水藤真

木簡研究 第6号

1984年11月刊 頒価 3500円

卷頭言 一記紀批判と木簡一

直木孝次郎

1983年出土の木簡

1977年以前出土の木簡(6)

平安時代の日記にみえる木簡

日本古代の人口

『木簡研究』1~5号総目次

山田英雄
鎌田元一

木簡研究 第7号

1985年11月刊 頒価 3800円

卷頭言 一刀筆の吏一

土田直鎮

1984年出土の木簡

1977年以前出土の木簡(7)

公式様文書と文書木簡

中国における最近の漢簡研究

英国出土のローマ木簡

木簡史料紹介—牛札一

早川庄八
大庭脩琢
田中琢真
石上英一

木簡研究 第8号

1986年11月刊 頒価 3800円

卷頭言 一最後まで残る仕事一

青木和夫

1985年出土の木簡

1977年以前出土の木簡(8)

中国簡牘研究的新動向

中国簡牘研究の新しい動向

倉札・札家考

袖井遺跡出土木簡の再検討

出土の文字資料からみた中世民衆生活の一面

—草戸千軒町遺跡を中心に一

李學勤
訳 菅谷文則
原秀三郎
栄原永遠男

志田原重人

創刊号~3号 品切れ

送料 1冊500円, 2冊600円, 3冊700円, 4冊800円, 5~10冊1500円